

Winny（ウィニー）による情報漏えいに関する注意喚起について

社団法人全国学習塾協会
会長 石井 正純

企業や官庁の取り扱う個人情報や機密情報等が職員等の私有パソコンから漏えいする事件が、毎日のようにニュースに取り上げられていますが、学習塾においても同様の事案が発生しています。

最近の傾向として、自宅等で仕事をするため、職員が許可なく業務データを持ち出し私有のパソコンを利用したことにより、ファイル交換ソフトWinnyを介して、個人情報や機密情報が大量に流出するという事案が多発しています。

政府も今年3月、「官房長官記者発表」として、『情報漏えいを防ぐ最も確実な対策は、パソコンでWinnyを使わないことです。この点について、私からも国民の皆さんにお願いしたいと考えております。』と述べています。

一般の個人ユーザーの情報漏えいがニュースに取り上げられないのは、漏えいした情報がどこからのものか特定できない、重要ではないと考えられたなどニュース性が低いため報道機関が取り上げなかっただけと考えられ、情報漏えいがないということではありません。情報漏えい問題は、他人事と考えずに、自分に当てはめて考えていただくことが重要です。

貴塾におかれましては、個人情報の漏えい等の防止のため、すでに様々な対策を講じておられると拝察いたしますが、「業務用のパソコンでWinnyを使用しない」、「私有のパソコンで業務を行わない」ことを周知徹底していただき、特にWinnyを始めとするファイル共有ソフトによる情報漏えい防止対策について、万全を期していただきますようお願い申し上げます。

また、Winnyからの情報漏えいを防ぐには、次のような対策が考えられ、それらを組み合わせることで実施することが有効と考えられます。

- (1) 漏えいして困る情報を取り扱うパソコンには、Winnyを導入しない。
- (2) 職場のパソコンを外部に持ち出さない。
- (3) 職場のネットワークに、私有パソコンを接続しない、または、できないようにする。
- (4) 自宅に仕事を持って帰らなくて済むよう作業量を適切に管理する。
- (5) 職場のパソコンからUSBメモリやCD等の媒体に情報をコピーしない、またはできないようにする。
- (6) 漏えいして困る情報を許可無くメールで送らない、または、送れないようにする。
- (7) ウイルス対策ソフトを導入し、最新のウイルス定義ファイルで常に監視する。
- (8) 不審なファイルは開かない。
- (9) パソコンに関しては、公私の区別を厳しく周知徹底する。

なお、Winnyを使用していなくても、パソコン内情報を流出させてしまうウイルスも存在することから、不審なサイト上でのクリックをやめ、不審なメールは開かないことが大切です。

以 上